



自動化による効率的かつ簡便なタンパク質結晶の構造研究

ビームラインの特徴

BL26B2では、偏向電磁石を光源とする安定性の高いビームを利用した効率的かつ高精度なタンパク質結晶のX線回折実験を行うことができます。自動測定システムを活用し、所外からの遠隔実験や、オペレータ介助とWEBデータベースを利用したメールイン測定が実施可能です。

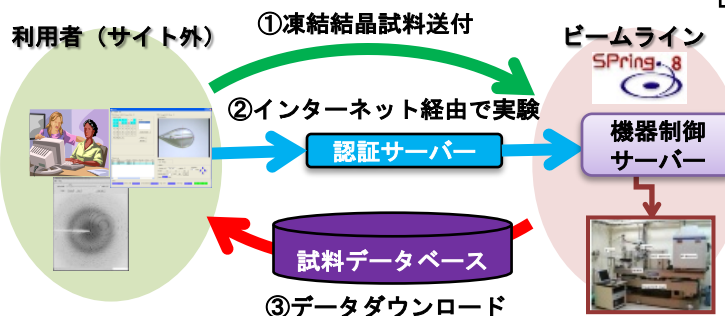
主要実験技術

1. タンパク質結晶X線回折
2. 遠隔実験
3. メールイン データ収集

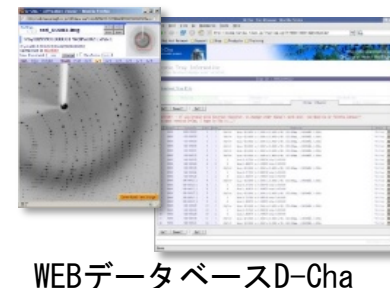
BL26B2 性能表

光源	偏向電磁石
ビーム強度 @ λ = 1.0 Å	1.6 × 10 ¹¹ (photons/sec)
ビームサイズ	Φ60 μm ~ Φ120 μm
波長	0.9 Å ~ 1.9 Å
二次元検出器	MX225HS CCD (Rayonix)
開口	225 mm x 225 mm
読出速度	10 Hz (2x2 binning)
カメラ長	70 mm ~ 600 mm
試料温度	100 K ~ 300 K
サンプル チェンジャー	ツインアーム型SPACE

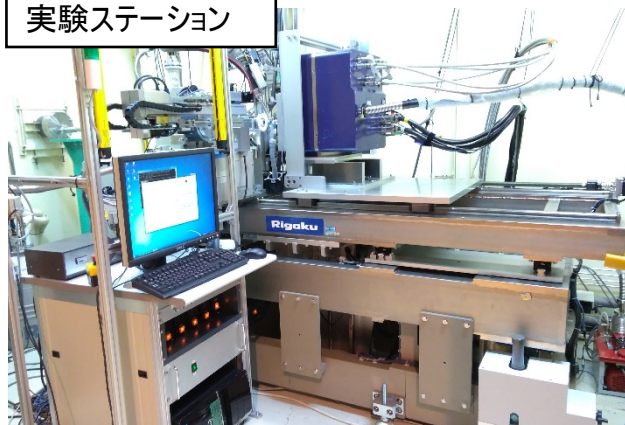
遠隔実験システム



メールインデータ収集



実験ステーション



ツインアーム型SPACE

